

15:00 昨日も出ていないと思います。張る感じはありませんが、  
浣腸してもらった方がいいですか？

レスキュー使用回数：3回

5月13日

14:00 疼痛訴えない。体動時にも苦痛表情なし。

レスキュー使用回数：4回

5月14日

16:00 浣腸してもらおうかな。お腹なってるし、出るんやろか？

浣腸施行

16:30 鍼灸治療 21 診目

今朝は痛くなかったんじゃないかな？

(胸は?)ん?ああ、痛くないです。

(眠れてますか?)うん。よく眠れています。

脈診：腎微弦、細

☆治療部位

<毫鍼>右後溪、右曲池、上巨虚、右太溪、左太衝、右衝陽

<円皮鍼>右前谷、右太溪、右曲池

レスキュー使用回数：4回

5月15日

8:00 朝はパンを食べました。

16:00 眠剤飲んだら、そのまま眠ってしまうんじゃないかといっ  
た不安あり。昨日より時間の感覚で混乱がある。

16:30 鍼灸治療 22 診目

(今朝は痛みどうでしたか?)そうね、痛かったと思う。

(胸の前の方はどうでしたか?)そっちは痛くなかった。

脈診：沈、無力、散→治療後：やや滑

触診：下腿の冷えあり

※問診直後より躰かいて入眠(時折目を覚ますが…)

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右上巨虚、右三陰交、右太溪、右太衝、行間、

手三里(単刺)

<円皮鍼>右外関、右後溪、右太溪、左公孫

レスキュー使用回数：2回

5月16日

8:00 ホットしました。今朝、目が覚めたら朝で、自分の時間と  
現実の時間が一致しました。

10:00 昨日も今日もよく眠れた。3日前は混乱して大変やった。

16:00 少し貼ってるな、痛いことはない。

18:00 鍼灸治療 23 診目

【妻】今日是一回もモルヒネ塩酸塩水和物液使っていない  
ですよ。(朝は?)今日は割と痛くなかったんです。(今は?)  
今も痛くないんです。あれやこれやと、もうないってくら  
い色々してもらって何が効いているのか分かりません。

分からないんだけど、私が思うにA・B・Cあったら全部  
いいように働いたんじゃないかな？

脈診：無力・細

☆治療部位

<毫鍼>右外関、太溪、太衝、行間、右三陰交

<円皮鍼>太溪、右外関

レスキュー使用回数：0回

5月17日

15:00 本人の時間感覚のずれが頻回でより不安を掻き立てている  
様子。

17:30 鍼灸治療 24 診目

【妻】痛みがなくなっているのは本当に良かったです。

先生から浮腫に対して、点滴を調節するって言われました。

脈診：無力、細、脈状とれない

触診：下腿浮腫(R>L)、右胸脇苦満

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、右膝関、右太溪、陷谷、外陷谷、地五会

<円皮鍼>右外関、右陷谷、右外陷谷、右地五会

レスキュー使用回数：1回

5月18日

9:00 痛みはないので最高です

18:30 腹が張って便が出そうです。(排便で中等量あり)

5月19日

8:00 お腹張ってしんどい。身体がしんどい。呼吸もしんどい。

20:00 つじつまが合わない発言あり。

レスキュー使用回数：2回

5月20日

9:30 意識混濁、腹部膨隆

10:30 皮下注(ミダゾラム注射液 2ml から) 10mg

ラムゼイスコアで5の指示

10:30 ミダゾラム注射液 10mg2A、0.5ml/h でスタート

16:00 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
2 診目：右肩痛に対して、鍼灸治療介入前は VAS=85mm であり、鍼灸治療直前では VAS=54mm 程度の痛みがあったが、治療直後 VAS=37mm と軽減が認められた。  
3 診目以降、夕方では VAS=20mm 程度と緩和が認められた。一人の時に強い痛みを訴えることから精神的な不安が悪化因子として関わっていたと考える。

- 患者コメント

鍼灸治療 2 診目後：鍼はあまり持続性がないと思います

鍼灸治療 9 診目：妻が疲れているみたいです。よかったら、診てもらえませんか？

鍼灸治療 14 診目：【妻】鍼灸のない日は痛み強い気がします

鍼灸治療 23 診目：あれやこれやと、もうないってくらい色々してもらって何が効いているのか分かりません。分からないんだけど、私が思うに A・B・C あったら全部いいように働いたんじゃないかな？

上記以外にも、病院内で鍼灸治療を取り入れるべきだといったコメントが複数回あった。

● 家族コメント

【妻】ずっと楽に逝きたいと言っていたので、本当に眠るように逝きました。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

鍼灸治療を待ちわびている様子がみれたことから、効果があったのではないかと考える。

【総括】

本症例はめまいの改善という事で介入を始めたが、1 診目の時点ではめまいがほぼ改善していることから効果は不明と考えた。

2 診目以降より右肩痛（癌性疼痛）、5 診目～12 診目まで下腿に出現した湿疹に対する治療を行った。結果、痛みは緩和傾向にあり、レスキューも痛みが出現したから使用ではなく、予防的使用に変わっていった。また、家人からも鍼灸治療の無い日は痛みが強いというコメントからも鍼灸治療は効果的であったと言える。

湿疹によるかゆみも 1～2 回の治療にて赤みが軽減し、痒みも軽減したが塗り薬も使用されていたためやや有効と診断した。

この患者は鍼灸治療介入前、「僕は鍼灸治療は眉唾物で、信じてはいないんだ」と否定的な印象を持たれていたが、ターミナル後期になるにつれ「病院内に鍼灸治療が受けられる施設はできないのですか？絶対に取り入れるべき」といったコメントが多くなった。これらコメントからも鍼灸治療の効果はターミナル期に入った患者にとって必要性の高い治療法の 1 つであると考えられた。

20140005 (No. 55)

【患者】66 歳、男性

【既往歴】23 年前 肺真菌症、X 年 5 月 白内障

【病態】肺癌

【ターミナル期】ターミナル中～後期

【現病歴】

X-1 年 5 月に健康診断を受けるも異常所見がないと診断されていた。10 月に入り強い疲労感を自覚していたが多忙であったため病院受診はできなかった。

X 年 2 月から労作時に息切れを自覚。4 月からは咳嗽が出現。疲労感は継続してあったため、病院受診となった。画像所見にて肺癌 (T2, N3, M1) と診断された。状態も悪く 5 月に入り、入院となった。

【服薬状況】

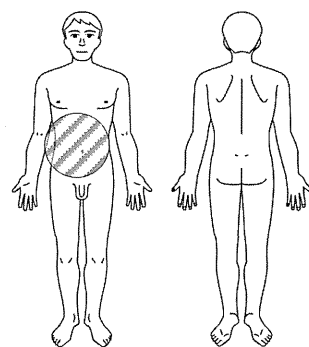
ロキソプロフェンナトリウム

塩酸塩製剤 60mg

トラマドール 3 錠

レスキュー：モルヒネ塩酸塩

水和物液 5mg



【鍼灸治療目的】

疼痛コントロール良好ではあるが、腹部膨満感が強く、食欲消失傾向となったため、鍼灸治療が依頼された。

【東洋医学的所見】

お腹が張って食べる気が起こらない。脈診：肝弦、胃弦。舌診：暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張、瘀斑あり。右胸脇苦満。右足陽明経緊張、左三陰交軟弱、右行間圧痛、右期門圧痛。

【弁証】肝胃不和

【鍼灸介入期間】44 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、24 回

【転帰】逝去

【入院期間】7 日間

【評価】VAS 評価の理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋した。

【鍼灸治療最終評価】

1) 腹部膨満感：やや有効

【治療経過】

5 月 14 日 痛みは薬を飲んでから痛くはない。

5 月 15 日

9:30 夜間はゆっくり眠れた。痛みは0に近い。痛くても(NRS)=4  
12:30 薬が増えて痛みはほとんどなくなりました。  
16:00 入院前から便秘傾向。マグネシウム開始。  
17:00 お腹が張る。自宅ではバナナを食べていた。ガスは時々出ていない時もあった。吐いたりしたのはいいです。  
5月16日  
8:00 痛みはないです。薬が増えて訳が分からんようになってきた。胸・腰ともに痛みなく経過  
16:51 鍼灸治療1診目  
痛みは(NRS)=0。お腹が張って食べる気が起こらない。  
脈診:肝緊、胃弦  
舌診:暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張、瘀斑あり  
触診:右胸脇苦満。右足陽明経緊張、左三陰交軟弱、右行間圧痛、右期門圧痛。  
☆治療部位  
<毫鍼>右上巨虚、左三陰交、右行間、右期門  
5月17日  
12:30 昼食たべず。ゼリーとアイスのみ。  
14:30 お腹張ってるな。痛みはない。  
17:30 鍼灸治療2診目  
吃逆止まっている。張った感じも、痛みもないみたい。  
脈診:胃滑  
舌診:淡白、白膩苔、舌下静脈怒張  
腹部:VAS=20mm  
☆治療部位  
<毫鍼>足三里、左三陰交、左期門  
<円皮鍼>右外関  
5月18日  
8:30 ええことない。お腹張ってしゃーない。  
9:00 【妻】先生の前ではあんまり言わないみたいだけど、お腹が張ってしんどいみたい。  
11:30 昼食たべず。軽度嘔気ある。  
5月19日  
8:00 便出てへんな。ガスもほとんど出てない。  
19:00 今日は調子悪い。ガスも出てないし、なんか上にあがってくる感じがする。  
レスキュー使用回数:0回  
5月20日  
10:00 一日中点滴しているとお腹が張ってしんどいです。夜間点滴から日中に変更。  
10:30 そんなに変わらんなあ。便はすこしでた。痛みは出んな。痛みさえ出んかったらええんや。痛みに対し、ロキソプロフェンNa60mg、トラマドール+アセトアミノフェン3錠を

使用。L4に転移あり、今後体動で痛みが出現する。  
18:30 サンドスタチン開始0.5ml  
レスキュー使用回数:0回  
5月21日  
1:30 大丈夫や、お腹がチクツとして目が覚めた。  
自製内だが痛み止め使用。  
7:30 痛くないけどご飯はいらん。  
11:00 昨日から左脇腹が少し痛みます。生存確率30日間と説明  
17:06 鍼灸治療3診目  
今日は割と調子いいです。吃逆なし。  
脈診:脾滑、肝腎虚  
舌診:暗淡白、胖大、嫩舌、舌下静脈怒張  
触診:左内関緊張、胆経緊張、右交信緊張、臨泣圧痛。両足背浮腫。  
☆治療部位  
<毫鍼>左内関、左公孫、臨泣、右豊隆  
<円皮鍼>左陥谷、左外陥谷、左地五会  
20:00 何のこと?ああ、今は何の苦痛もないで、ニコニコマークや。便秘の薬はいらん、眠剤は欲しい。  
レスキュー使用回数:0回  
5月22日  
10:30 前に比べたら、お腹も腰もマシになってきたそれよりも右肩のしこりができている気がする。動いた時にピリッとすることも。  
12:00 右肩がピリピリ痛いわ。飲んでみようか、前みたいにしんどくなるのも困るし(NRS=1~2)。  
14:30 よう、きいたわ。今までねとった。  
レスキュー使用回数:1回  
5月23日  
8:00 痛いは腰やったNRS=2くらい。今はないよ。排ガス3回。便はなし。  
16:00 患者希望により鍼灸治療終了とする。  
レスキュー使用回数:1回  
5月24日  
10:30 肩は張ったように痛い。(FS=)3。  
10:30 右肩が痛かったから薬飲んだけど、まだ効いてない。(NRS=)5~6の痛み。(9:30に疼痛+レスキュー使用)  
17:30 右肩の痛みが時々あり、鎮静剤が効いているが…腫瘍は急速に大きくなっている。  
レスキュー使用回数:1回  
5月25日  
16:00 痛いーここが痛い。内側がいたい。息の根を止めてくれー!  
こんな痛いの初めてや!右前胸部にFS=5の痛み  
16:30 FS=5→4に軽減

17:00 FS=2 まで軽減  
 17:30 うー痛い。また痛いんや。こんな痛い。(FS=5)  
 19:30 FS=1 に軽減  
 レスキュー使用回数: 4回

5月26日  
 4:30 1時間おきに3回使用  
 5:30 痛みは2くらいやけど、痛くなったらかなんし。  
 6:30 もう一回飲んでおくれ。痛みがFS=2くらいで飲んでおかんと押さえてもおさまらんし。  
 16:00 眠たくないで。大丈夫や。今は(NRS=)0やな。  
 レスキュー使用回数: 6回

5月27日  
 6:30 痛みも落ち着いている。FS=1。ややぼんやり  
 レスキュー使用回数: 0回

5月28日  
 8:00 ろれつ回っておらず、聞き取れないことが多い。  
 9:30 痛い、ん〜わからん。FS=3~4。  
 12:00 意識レベル低下  
 5月29日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
 腹部膨満感による食欲減退の評価は、印象評価にて行う
- 患者コメント  
 3診目以後: 治療直後に苦痛を訴える事はなかった。「今は何の苦痛もないで、ニコニコマーク」「前に比べたら、お腹も腰もマシになってきた」など
- 家族コメント  
 特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象  
 介入期間が短いため、不明

【総括】

本症例は食欲不振を伴う、腹部膨満感(癌性腹膜炎)に対して鍼灸治療を施行した。介入後、食事はほとんど変わらないが、患者コメントから「前に比べたら、お腹も腰もマシや」と、介入前よりは症状の緩和が認められていた。しかし、服薬状況も変わっているため、鍼灸のみの効果とはいえない。治療前後で僅かながら効果があったことから、やや有効と診断した。本症例は認知症の進行に加え、長期入院に伴うストレスが強く、突然攻撃的な発言が認められた。その点を考慮し、精神的緩和に対しても鍼灸治療を介入させてよかったのではないかと反省させられた症例であった。

20130006 (No. 56)

【患者】29歳、女性

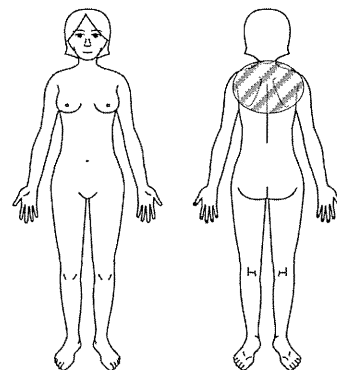
【既往歴】特記なし

【病態】乳癌

【ターミナル期】術後化学療法中

【現病歴】

X-1年、右乳癌と診断され、術前化学療法の後、化学療法乳房温存手術を施行。X年、術後化学療法中である。化学療法による副作用で、口内炎、嘔気等が出現したが、現在トラスツズマブに変更し、口内炎、嘔気も以前より軽減してきている。術前化学療法から近所の鍼灸治療院にて鍼灸治療を受けており、学業の関係のため、鍼灸センターでの治療を希望されたため、来院することとなった。



【服薬状況】

トラスツズマブ  
 ドキシフルリジン  
 シクロホスファミド

【鍼灸治療目的】

化学療法の副作用による全身倦怠感、便秘に対し、鍼灸治療を希望された。

【東洋医学的所見】

ホットフラッシュがあり(副作用による)排便:普通~軟便。しかし、排便時踏んばらなないと出ず。始めは硬く、あとは軟便である。睡眠;点滴(抗がん剤)した日は2時、5時に目が覚めていたが、現在はそれほどはなない。脈診:やや浮、数(一息六至)、細、輪郭がない、肝・腎無力。舌診:暗淡白、乾燥、瘀斑、舌下静脈怒張、薄白苔  
 期門圧痛(L>R)、Lt 章門圧痛、太溪軟弱、交信緊張

【弁証】気虚・気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】255日間

【鍼灸治療回数】

1~2回/週(患者自身のペースに合わせる)、  
 31回

【転帰】継続中

【評価】痛み評価はVisual Analogue Scale(以下VAS)を使用していた。また、日々の状態から、総合的に評価をおこなった。

【鍼灸治療最終評価】

1)倦怠感:著効

2)肩コリ：著効

【治療経過】

4月16日 鍼灸治療1診目

薬により、閉経が起こっているため、更年期症  
状によるホットフラッシュがあり辛い。

排便：普通～軟便。力んで出る。始めは硬く、後半軟便である。

睡眠：点滴（抗がん剤）した日は2時、5時に目が覚めていたが、  
現在はそれほどではない。

脈診：やや浮、数（一息六至）、細、肝・腎無力

舌診：暗淡白、乾燥、瘀斑、舌下静脈怒張、薄白苔

触診：期門圧痛（L>R）、Lt 章門圧痛、太溪軟弱、

交信緊張

☆治療部位

<毫鍼>交信、右公孫、左臨泣、右地五会、右足三里、左内関、  
左神門、風池、天牖、肩井、右心兪、左肺兪、左脾兪、  
左三焦兪、志室、崑崙

※化学療法中は鍼灸治療も併用し、調子が良かったため継続治療を受  
けたかったとのこと。

4月25日 鍼灸治療2診目

相変わらず、倦怠感があるも、前回の治療後はスツとして、  
2～3日は楽な感じがした。4日目から症状が戻り、昨日が  
ピークで身体全体がしんどかった。

睡眠：7～8時間（しかし、寝た感じは2～3時間程度）

肩こり：VAS=68mm→治療後：VAS=29mm

背中：VAS=50mm→治療後：VAS=16mm

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、左公孫、左俠溪、右膝関、左期門、左章門、右気戸、  
左内関、左経渠、右上巨虚、右天柱、風池、天牖、肩井、  
右心兪、左督兪、左脾兪、左胃兪、志室、崑崙

4月30日 鍼灸治療3診目

一昨日、昨日と4時間ほど立ち仕事で疲れた。  
しかし、前回（先週）と比較すると楽である。

脈診：脾洪、腎無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌、齒痕（+）

☆治療部位

<毫鍼>右内関、左神門、右期門、左章門、右行間、左公孫、  
右三陰交、復溜、右臨泣、天柱、風池、肩井、左肺兪、  
厥陰兪、右心兪、左脾兪、左胆兪、左胃兪、志室、崑崙

5月2日 鍼灸治療4診目

昨日からハーセプチン開始しました。いつも、次の日には  
倦怠感が強いので、今日はしんどいです。

脈診：肝無力

舌診：淡紅

☆治療部位

<毫鍼>右内庭、左神門、右公孫、右上巨虚、左期門、左章門、  
右膝関、左三陰交、右肺兪、右胃兪、左腎兪、崑崙

5月9日 鍼灸治療5診目

倦怠感が今日は強いです。

脈診：脾微弦

舌診：暗淡紅、舌裏紅、舌下静脈怒張（+）

便通：初めが出にくい

倦怠感：VAS=70mm→治療後：VAS=47mm

肩こり：VAS=79mm→治療後：VAS=61mm

☆治療部位

<毫鍼>左内関、左神門、左期門、左章門、右太衝、太白、右上巨虚、  
風池、天牖、肩井、厥陰兪、志室、左肝兪、左胆兪、附陽

5月21日 鍼灸治療6診目

休業中のため倦怠感は少し楽。どちらかというと肩こりが  
つらい。

脈診：脾無力

舌診：暗淡白、嫩舌、舌下静脈怒張

倦怠感：VAS=43mm→治療後：VAS=25mm

肩こり：VAS=57mm→治療後：VAS=41mm

鼠径部緊張（R>L）

☆治療部位

<毫鍼>臨泣、左気戸、天柱、左上巨虚、左内関、風池、右公孫、  
左後溪、天牖、左膝関、右厥陰兪、左胆兪、右腎兪、胃兪、  
崑崙

5月23日 鍼灸治療7診目

今日はちょっとマシです。

脈診：肺虚

☆治療部位

<毫鍼>左経渠、左臨泣、右上巨虚、右三陰交、左太白、崑崙、  
下腕（左向きに横刺）、天柱、風池、天牖、肩井、左肺兪、  
右厥陰兪、左督兪、右脾兪、右胃兪、右三焦兪、志室

5月28日 鍼灸治療8診目

倦怠感ほぼなし、残便感も以前ほどはない。朝方スッキリ  
目が覚めず、なかなか起きれない。

脈診：肝・腎弦、細、数（一息六至）

触診：手のほてりあり

便通：まだ硬い

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、三陰交、左公孫、地五会、右内関、左外関、風池、  
肩井、左肺兪、Th3 俠脊穴、Th7 俠脊穴、左脾兪、左胃兪、  
志室、崑崙

5月30日 鍼灸治療9診目

肩こり、特に右がつらい

倦怠感：VAS=33mm→治療後：VAS=0mm

肩こり：VAS=65mm→治療後：VAS=17mm

腰痛：VAS=65mm→治療後：VAS=16mm

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右章門、左期門、左上巨虚、三陰交、左侠溪

※治療後「初めて治療中寝ました」以前まで通っていた鍼灸院でも寝たことはなかったとのこと。

6月4日 鍼灸治療10診目

昨日、ハーセプチンしてきたので、ちょっとしんどいです。

今日は首から上が何かのっているかのように重い感じ。

倦怠感：VAS=54mm→治療後：VAS=21mm

肩こり：VAS=32mm→治療後：VAS=25mm

頭重感：VAS=63mm→治療後：VAS=20mm

残便感：VAS=65mm

脈診：脾・腎弦

舌診：淡白、乾燥

触診：両胆経緊張

☆治療部位

<毫鍼>後溪、左内関、右上巨虚、左太溪、左太衝、束骨・京骨の間、復溜、風池、天牖、肩井、右心俞、左胆俞、右脾俞、右胃俞、志室、崑崙

6月6日 鍼灸治療11診目

昨日、肩が痛かったので後輩に灸をしてもらいました。楽になりました。けど、それよりも今日は便秘というか、残便感がきついです。

倦怠感：VAS=70mm→治療後：VAS=14mm（眠さ59mm。気持ち良い）

肩こり：VAS=54mm→治療後：VAS=29mm

残便感：VAS=88mm→治療後：VAS=43mm

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左内関、左神門、左曲泉、右中封、復溜、風池、天牖、左肝俞、左胆俞、左脾俞、右三焦俞、志室、附陽

<鍍鍼>Th4~5 棘突起間

6月18日 鍼灸治療12診目

昨日、下痢でした。なので、残便感はあまりありません。

夜には嘔気もあったんですけど、朝起きた時は落ち着いてました。

倦怠感：VAS=36mm→治療後：VAS=4mm

肩こり：VAS=68mm→治療後：VAS=25mm

残便感：VAS=17mm→治療後：VAS=?

脈診：腎弦、肝無力

触診：胆経緊張、復溜緊張圧痛、右内関緊張、公孫発汗、

右膝関表面緊張圧痛

A>肝腎虚

☆治療部位

<毫鍼>右内関、右公孫、右太衝、右膝関、左足三里、風池、天牖、心俞、肩井、左胆俞、左脾俞、右胃俞、志室、崑崙

6月27日 鍼灸治療13診目

朝が起きれない。0時に寝ても3時、4時、5時で起きてしまうので、起きる時間になったら、だるくて。昼間もしんどいです。

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左太衝、右公孫、左交信、左侠溪、天柱、風池、肩井、左心俞、至陽、左胆俞、左脾俞、左胃俞、志室、崑崙

7月4日 鍼灸治療14診目

昨日便が出ずに、肛門が切れてしまった。倦怠感が本日は強い。0時にベッドにはいり、1時~2時の間に寝て、8時には起きようとしているが、どうもすぐには起きられず、8時40分くらいまでベッドの中にいる。

脈診：腎・弦

倦怠感：VAS=68mm→治療後：VAS=32mm

☆治療部位

<毫鍼>左内関、公孫、行間、左復溜、百会、右期門、右章門、左上巨虚、風池、天牖、肩井、左肺俞、左厥陰俞、左腎俞、左胆俞、左脾俞、胃俞、志室、崑崙

7月11日 鍼灸治療15診目

先週よりも気持ち全体的にいいかと。

腰痛は昨日からしんどいかな?となってきた。仰向けでいると大抵だるいような何処かつづばったような痛みがでる。

脈診：脾虚、肝無力

舌診：暗淡白、舌尖紅、湿潤、肿大、嫩舌

倦怠感：VAS=38mm→治療後：VAS=18mm

肩こり：VAS=54mm→治療後：VAS=25mm

残便感：VAS=2mm→治療後：VAS=×

腰痛：VAS=64mm→治療後：VAS=27mm

A>脾の陽気不足、肝陰不足

☆治療部位

<毫鍼>左内関、左期門、左章門、左太溪、三陰交、左太衝、左公孫、右上巨虚、風池、天牖、肩井、厥陰俞、左督俞、左肝俞、左脾俞、左志室、崑崙

7月30日 鍼灸治療16診目

やはり1週間以上鍼灸治療を受けていなかったの、しんどいです。寝ても寝足りないというか、だるい感じがあります。今日も倦怠感がちょっとひんどいです。便は下痢と

便秘を繰り返しています。今日はちょうどいいくらい。身体が内側から熱いという感じで、とにかく暑いんです。そういえば、数日前から鼻水が出るというわけではないんですが、なんか詰まっているというか、気色悪い感じがした。

脈診：肺・腎虚

舌診：暗淡白、舌裏紅、胖大、嫩舌

触診：発汗強い、尺沢、中府硬結（R>L）

倦怠感：VAS=70mm→治療後：VAS=35mm

☆治療部位

<毫鍼>左神門、経渠、中府、復溜、左太衝、右期門、右章門、天柱、  
風池、天牖、肩井、肺俞、左脾俞、右胃俞、右三焦俞、  
志室、崑崙

※治療中入眠

8月6日 鍼灸治療 17 診目

日に日にしんどくなります。多分、天候のせいだと思うんですが、よく寝たと思える日が少なく、疲れが取れません。

便通：下痢

聞診：声が弱く、暗い印象。

☆治療部位

<毫鍼>左内関、左期門、左膝関、右臨泣、右公孫、右章門、右天柱、  
風池、天牖、右肩井、右厥陰俞、右心俞、右肝俞、右胆俞、  
左胃俞、右志室、崑崙

9月5日 鍼灸治療 18 診目

休み中にあまり動いていなかった。本日は体力がなくて怠いのと、肩こり（ツッパリ感）が強かったです。

☆治療部位

<毫鍼>右地五会、右外内庭、右上巨虚、膝関、外関、右後溪、崑崙、  
左期門、右章門、右気戸、天柱、風池、天牖、肩井、肺俞、  
右厥陰俞、左督俞、左胆俞、左脾俞、右胃俞、左志室

9月12日 鍼灸治療 19 診目

先週から大学は始まり、ストレスが溜まるようになった。そのため、胃痛が起り、今はムカつきがある。胃痛に伴う吐き気はない。

脈診：腎微弦

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌

☆治療部位

<毫鍼>右内関、左神門、左後溪、右気戸、右期門、左太溪、右公孫、  
中封、左地五会、左上巨虚、右陷谷、右外陷谷、風池、  
天牖、右肩井、肺俞、右胆俞、右胃俞、志室、崑崙、跗陽

9月19日 鍼灸治療 20 診目

倦怠感軽減。上肢・下肢の温度差が気になる。

腹部膨満感があり。

脈診：腎無力、細

触診：足の陽明経熱感

☆治療部位

<毫鍼>右内関、左神門、左上巨虚、復溜、左臨泣、左太白、風池、  
天牖、肩井、右胆俞、右脾俞、右胃俞、右三焦俞、志室、  
崑崙

9月26日 鍼灸治療 21 診目

いつもと同じで、ちょっと怠いです。

脈診：肝血虚、81回/分、胃弦

舌診：暗淡紅、胖大、嫩舌

☆治療部位

<毫鍼>左太溪、陷谷、外陷谷、右侠溪、左地五会、右後溪、右期門、  
左章門、左気戸、風池、右天柱、肩井、心俞、右胆俞、右  
脾俞、右胃俞、左志室、崑崙

10月1日 鍼灸治療 22 診目

昨日の夕方ころから喉の痛み、咳鼻水があり、前頭部に頭痛がある。

脈診：洪、肺実

☆治療部位

<毫鍼>右太淵、右気戸、右期門、左章門、右公孫、右膝関、左復溜、  
右三陰交、左外関、風池、肩井、天牖、肺俞、肝俞、  
左胃俞、志室、崑崙

10月8日 鍼灸治療 23 診目

前回よりマシですが、あと少しで（風邪）治る感じです。

脈診：肺やや浮・無力、腎やや浮

舌診：暗淡紅、舌尖紅、胖大、嫩舌、舌下静脈怒張少々

☆治療部位

<毫鍼>左神門、左後溪、左期門、左章門、右公孫、陰谷、曲泉、  
左地五会、風池、天牖、左胆俞、右肝俞、志室、崑崙  
<ツボ灸>肺俞

10月22日 鍼灸治療 24 診目

ポスターや文化祭の準備で忙しく、全身が怠い。

怠さ：NRS=9

睡眠：熟眠感なく、疲労がとれない

脈診：細、虚、脾滑、肝腎無力

背部：心俞、肝俞、腎俞白く抜ける。胃俞やや実。

触診：足陽明経緊張、神門発汗、公孫発汗

☆治療部位

<毫鍼>左内関、右劳宮、右期門、右章門、公孫、左中封、右臨泣、  
左中封、右臨泣、左上巨虚、右天柱、天牖、風池、肩井、  
右厥陰俞、左胆俞、左脾俞、左胃俞、左志室、崑崙

※治療後、鍼後の軽度だるさを訴えるも NRS=4 程度（だるさというより眠さの方が強い）

11月5日 鍼灸治療 25 診目

文化祭終わったのでちょっと楽です。

脈診：肝滑、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会、左上巨虚、左公孫、合谷、  
左外関、風池、天牖、肩井、左厥陰俞、右心俞、右脾俞、  
胃俞、志室、左L4/5棘間傍点、崑崙

11月21日鍼灸治療26診目

数日前から、寒気と鼻水と喉の痛みがある。

脈診：肺・脾虚

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌、舌尖紅、舌下静脈怒張

☆治療部位

<毫鍼>左太淵、左尺沢、左公孫、左陥谷、左外陥谷、左地五会、  
左期門、右章門、左気戸、太溪、風池、天牖、右肩井、  
肺俞、左肝俞、左胆俞、志室、附陽

11月26日鍼灸治療27診目

風邪が全然治らず、咳、鼻水、喉の痛みあり

触診：胸脇苦満（緊張・圧痛あり）

☆治療部位

<毫鍼>左中府、左尺沢、復溜、右地五会、左臨泣、左太衝、左合谷、  
風池、天牖、右肩井、志室、崑崙、胃俞

<ツボ灸>肺俞、風門、厥陰俞

12月3日 鍼灸治療28診目

4~5日前から食べ物は通過するも、唾液がうまく飲み込めない  
ことがあり、酷い時はどうやって飲み込んでいたのか分からなく、  
軽くパニックをおこしていた。

脈診：肝・腎弦

☆治療部位

<毫鍼>左復溜、行間、右陥谷、右外陥谷、左侠溪、右上巨虚、  
左期門、右章門、風池、天牖、肩井、左脾俞、左胃俞、  
左腎俞、崑崙

<ツボ灸>右肺俞

12月10日鍼灸治療29診目

最近はだるくてもNRS=4~5程度で安定している（酷い時は  
NRS=9近くあった）。風邪はだいぶ楽になりました。

脈診：やや洪、腎微弦

☆治療部位

<毫鍼>右内関、左後溪、左上巨虚、太溪、左公孫、右地五会、  
風池、天牖、肩井、身柱、右胃俞、腎俞、附陽、崑崙

<ツボ灸>右肺俞

12月17日鍼灸治療30診目

ちょっと寒いものあるけど、しんどくて、眠いです。

脈診：胃微弦、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>左内関、左期門、左章門、右公孫、左太白、左地五会、

右陥谷、右外陥谷、右侠溪、右上巨虚、天柱、風池、天牖、  
肩井、肺俞、脾俞、志室、崑崙

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価

全身倦怠感は鍼灸治療直後に眠さが加わり、だるく感じるとのこと  
だったが、VAS=20mm以上改善していることから著効があったと  
考える。

肩こりも治療直後にはVAS=10mm~20mm以上改善が認められてい  
ることもあり、有効であったといえる。

- 患者コメント

鍼灸治療2診目：前回の治療後はスツとして、2~3日は楽な感じ  
鍼灸治療3診目後：バイトで立ち仕事を行っていても、倦怠感は  
先週よりも感じていない

鍼灸治療9診目：初めて鍼灸治療中に眠れるほど、気持ちよか  
った

- 家族コメント

特記なし

- 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

今回、化学療法による副作用に対して鍼灸治療を1回/週のペースで  
行った。1回の鍼灸治療で約3日間の継続効果があり、全身倦怠感およ  
び肩こりに対して著効が得られたと考えた。

また、9診目頃から治療中から眠れるほど信頼関係が得られていた。  
担癌患者の多くは、その日によって体調が変わりやすい。これまでの  
経験から、抗癌剤投与後は全身倦怠感が強く、日中も作業ができな  
い事が多い。そのため、倦怠感が強い場合は、補腎治療をベースに入  
れることが重要であると言える。



【患者】86歳、男性

【既往歴】胃癌、胆嚢炎

【病態】大腸癌転移

【ターミナル期】ターミナル前期

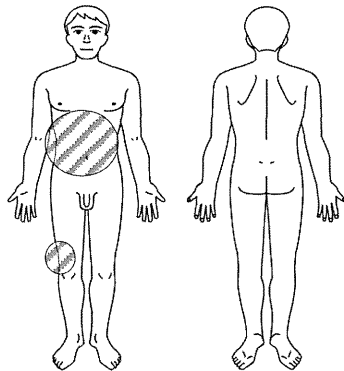
## 【現病歴】

16年前に胃癌と診断、胃癌全摘を施行していた。今回、大腸癌転移と診断され、外来にてフォローアップ中に、尿閉、腎後性腎不全、急性腎盂腎炎を発症したため入院に至った。膀胱緊満強く、自尿なし。

バルン挿入して550mlあり。尿臭強いテネスマス訴えあるが、処置ベッドで入眠。昨夜も便意で眠れなかった。

## 【服薬状況】

レスキュー:ロキソプロフェンナ  
トリウム60mg、トラマドール



## 【鍼灸治療目的】

便秘および入院前から訴えていた右膝痛に対して、ロキソプロフェンナトリウムを使用するも訴えが頻回になってきたため、依頼された。

## 【東洋医学的所見】

脈診：肝無力、胃微弦。両外反母趾。右膝前面全体にズキズキとした痛みを訴える。テネスマスは症状緩和していたため、予防的に行う。

【弁証】胃実、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】18日間

【鍼灸治療回数】4回/週、11回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

## 【鍼灸治療最終評価】

- 1) 右膝痛：有効
- 2) 整腸：やや有効

## 【治療経過】

6月24日

1:00 ずっとここが痛いんや。  
アセトアミノフェン座薬使用、5時間程度経過していないため、レンドルミン1錠頓服使用。

10:00 右の足がな、痛いだな、あかんわ。右足背のみ浮腫

6月25日

9:00 前立腺小細胞癌、骨盤内リンパ節転移あり。昨夜は大丈夫だった。昨日処置してもらってから、お腹の調子もよい。  
(テネスマス軽減)

12:00 左の腹がえらいんや、胸も悪いけど、吐くほどではないな

17:30 鍼灸治療1診目

ずっとズキズキ痛いんや。ここ(右膝)が。

脈診：肝無力、胃微弦

両外反母趾、18日より排便なし。

※治療後、右膝は苦痛表情なく動かしていた。

☆治療部位

〈毫鍼〉右侠溪、右内庭、右外内庭、太衝、左上巨虚

〈円皮鍼〉右陥谷、右外陥谷、右地五会

6月26日

14:30 便意あるも排便なし。昼食後排便にて軟便少量ずつ。

15:30 昨日、便に行きたくなって、何回も言ったけど、ガスも出なかった。今は大丈夫。(膝はどう?) 昨日、鍼してもらって楽になった。

17:30 鍼灸治療2診目

膝は痛かったから湿布貼ってもらった。うん痛かった。

おう、そこ痛かったよお。

脈診：洪。舌診：紅、無苔

触診：上巨虚緊張圧痛、三陰交緊張圧痛

☆治療部位

〈毫鍼〉右足三里、右三陰交、左上巨虚

〈円皮鍼〉右三陰交

18:30 オムツ内、便失禁中等量あり

20:00 本日プルゼニド休薬してコントロールしていく

6月27日

7:30 起きとったら、膝が痛いんや。水がたまってるんじゃないかと思うんや。端坐位になると右膝の痛みがアップ。湿布、鍼あまり効果はないとのこと。

15:30 鍼灸はあんまり変わらん

17:00 鍼灸治療3診目

ちょっとマシになってきたよ。でもズキズキしとるんや。  
今はちょっとね。

脈診：腎無力、肝虚、脾微弦

触診：足浮腫。

☆治療部位

〈毫鍼〉右陥谷、右外陥谷、右侠溪、右三陰交、右足三里

〈円皮鍼〉右行間、右陥谷、右外陥谷、右地五会、右三陰交

17:10 車椅子状態で20分程度会話。

右膝の痛み訴えるも、さらに10分会話する。

(トラマドール：6時、12時、18時、22時)

6月28日

7:00 右膝痛は軽減であるが持続。テネスマス消失している。

16:00 鍼灸治療4診目

今日はちょっと、朝から吐きそうになった。今はちょっとだけ。軽度嘔気あり。

脈診：腎無力、肝洪

舌診：暗淡白、白膩苔

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、右足三里、右内関、左外関

<円皮鍼>右太溪、左内関、三陰交

16:30 酷い痛みではなくなってきた。

トラマドール4錠/分4→3錠/分3+ノバミン3錠/分3

6月29日

6:00 何もない。

消化器症状等と問うと上記にて、大丈夫と。痛み訴えなし。

11:00 膝がズキズキ痛い。

ここだけ痛い。今は吐き気ない。便はいきたい感じはない

16:00 昼食うどん9割摂取。嘔気嘔吐なし。

6月30日

6:00 右膝痛いな。

トラマドール1錠使用。

10:30 痛みマシ。食事まずまず。嘔気なし。

22:00 待たなしに出てしもうた。排便少量のみあり。

7月1日

11:30 ここ数日(3日間)毎日軟便あり

14:30 まだ痛いな。前よりは調子いい気がする。

22:00 トラマドール1錠、プルゼニド2錠

7月2日

6:00 ちょっとマシや。お腹は何ともない。

膝痛軽度あり。トラマドール1錠

13:30 出そうにないな。気張ってみたけどあかん。

17:30 鍼灸治療5診目

今は痛くない。夜は痛い。ズキズキ痛い。

脈診：胃微弦

☆治療部位

<毫鍼>右太衝

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会、右太溪、右内関

7月3日

9:00 夜眠れている。膝の痛み継続。

16:00 今日は天気悪いで、余計に痛いな

17:30 鍼灸治療6診目

今のとこ痛いよ。といっても前よりマシだけど。

ちょっとだけ、眠れたよ。

脈診：脾弦、腎無力、細

触診：右下肢浮腫、左足三里硬結

☆治療部位

<毫鍼>右陰陵泉、右三陰交、左足三里

21:30 右膝痛い

7月4日

6:00 足が痛いなあ。テネスマス症状訴えなし。

トラマドール1錠

11:30 痛いのは痛いで。右の膝から下痛み訴えるが話しかけないと、表情穏やか。苦痛表情なし。動作時のみ増強する。

15:30 便意あり。浣腸にて普通〜軟便握りこぶし大。

17:30 鍼灸治療7診目

そこ、そこが痛い。以前からの膝下の痛みではなく、膝蓋骨外側に痛みを訴える。

脈診：腎無力

☆治療部位

<毫鍼>右三陰交

<円皮鍼>右中封、右三陰交、太溪

7月5日

6:00 オムツ内に泥状便

10:30 安静時もズキズキ痛む。

15:30 出とるか? オムツ内、泥状便中等量。昨日の浣腸後、泥状便ガラガラと続いている。

16:30 鍼灸治療8診目

痛いよ〜曲げられない〜。

脈診：沈、洪

触診：右下腿浮腫

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、右三陰交、右行間、右陥谷、右外陥谷

<円皮鍼>太溪、右陥谷、左内関

7月6日

9:30 昨日は疲れた、今は大丈夫。右下腿リンパ浮腫あり。

16:30 今日はない。足楽なんや。うん。痛くない。動かしたら痛いけど今日はマシ。

22:30 オムツ内泥状便あり。プルゼニド2錠

7月7日

8:30 膝の痛み少しマシ。天気悪いとズキズキする

7月8日

8:30 一緒。動くと膝が痛くなる。

15:00 体動時に疼痛

7月9日

6:00 足が痛いので動かんのだ！  
13:30 便でたような感じもないし、行きたい感じもないし、温めたら楽。  
18:30 鍼灸治療 9 診目  
・・・。声掛けするもテレビをみている。  
治療中からウトウトと眠る。

脈診：脾滑

触診：下腿浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右三陰交、右太溪

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪

7月10日

10:00 痛いところはない。  
10:00 看護師の話ではトラマドール内服後痛み落ち着くよう。  
17:30 鍼灸治療 10 診目  
膝から下ぜんぶ痛い。うん。(今もですか?) …。  
治療後すぐに横になり、入眠。

脈診：腎無力

触診：右下腿浮腫

☆治療部位

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪、右太溪

7月11日

6:00 起きようか? まだ早いか。自分で下肢を下して座位になられている。  
15:00 膝から下がしびれとる。入院前は痛かったんやけど、今は重だるい。  
17:00 鍼灸治療中止

7月12日

9:30 お世話になりました。右膝の痛み軽度の訴え  
17:30 鍼灸治療 11 診目  
足腫れているでしょ? 痛いんは膝の下。  
(しびれはどうですか?) ううん。痛いだけ。

脈診：脾渋、腎弦

触診：右下腿浮腫。

☆治療部位

<毫鍼>左足三里

<鍍鍼>湧泉、腎、脾経

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪

7月13日

ちょっと、立とうと思ってな…すてーんと。痛いところない。  
もう、1人で動かんようにするわ。昼食後、立とうとされ転倒した様子。

7月14日

10:00 ホットパックにて膝痛軽減している。

17:00 痛くないよ。

21:00 本日排便なし

7月15日

10:00 足は痛い。足の甲や!

7月16日 退院

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

2 診目：右肩痛に対して、鍼灸治療介入前は VAS=85mm であり、鍼灸治療直前では VAS=54mm 程度の痛みがあったが、治療直後 VAS=37mm と軽減が認められた。

3 診目以降、夕方では VAS=20mm 程度と緩和が認められた。一人の時に強い痛みを訴えることから精神的な不安が悪化因子として関わっていたと考える。

● 患者コメント

鍼灸治療 1 診目後：鍼してもらったから楽になった。

鍼灸治療 8 診目：今日は、膝は楽なんや

● 家族コメント

特記なし

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

膝痛の訴えはあったが、実際には軽減している様子を受ける。整腸は効果不明。

【総括】

痛みを訴えることが口癖のようになるが、どこがどう痛いのかという質問には首をかしげる行為が見られた。認知症も進行していたため、患者本人からの痛みスケールによる評価は取れなかったが、治療前後では膝の屈伸運動時の苦痛表情が認められなかったこと、また、痛みが翌日に戻ってきても以前よりは軽減が認められていることから鍼灸治療は有効であったと考えられた。

便秘は服薬の影響もあり、一概に鍼灸のみで改善したわけではないが、その後症状が再発することがなかったことから、継続的治療によりテネスマス予防になっていたと考える。

【患者】43歳、男性

【既往歴】腹壁、回腸漿膜下再燃

【病態】虫垂癌 (ⅢA, T4)

【ターミナル期】ターミナル前期

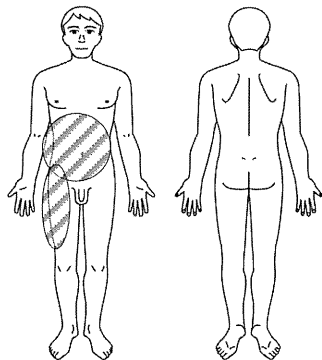
【現病歴】

X-1年8月末に虫垂癌と診断。(ステージⅢ T4, S1)。摘出手術を行うも、腹壁、回腸漿膜下再燃となった。

近医病院にてカペシタビン 4200 mg/日 (2週1休) で行ったところ、副作用である下痢を起こしたため、1週で中止となった。

以後、本病院に転院となり、フォローしていくこととなる。

12月からカペシタビンを行うも、2週間で中止。X年3月に右尿管腫瘍浸潤水腎症を発症。今回、状態が悪化したため入院となった。



【服薬状況】

オキサリプラチン+カペシタビン 4200mg/日 (2週1休) →下痢により中止。ゼロダ→2週間で中止。ロキソニンテープ (6月27日～)。

レスキュー：フェンタニル

【鍼灸治療目的】

フェンタニル使用するも、右足、腹部の痛みを訴えており、苦痛表情が常に見て取れていたため、看護師から鍼灸治療を薦めたところ、同意が得られたので依頼となった。

【東洋医学的所見】

右上腹部に強い痛みを訴え、仰向けができない。排便あるも症状緩和にはならない。脈診：数、腎虚、弦。足背浮腫、右章門圧痛、左公孫緊張、陷谷・外陷谷・地五会圧痕、左上巨虚緊張、胆経緊張 (R<L)

【弁証】腎陽虚、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】64日間

【鍼灸治療回数】4回/週、37回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)右大腿部痛：著効

2)腹痛 (癌性腹膜炎)：著効

【治療経過】

6月24日

0：00 痛いかなあ。え？まだ1時間経ってないの？

10：00 右足が痛い。横になっていた。目が覚めるとトイレに行くっていう感じ。右大腿部擦り、痛み持続。俯いている。

レスキュー使用回数：12回

6月25日

15：30 トイレした後に、椅子に座ると楽みたいです。

背もたれあるし。温めるやつは、冷たくなると痛くなるみたいで、ぼいっとしとってです

17：30 鍼灸治療1診目

ん～この右のこの辺が痛いです (右上腹部)。

(トイレに行ったら楽ですか?)

変わりません。いつつつ。痛くて、仰向けできません。

脈診：数、腎虚、弦

触診：足背浮腫、右章門圧痛、左公孫緊張、左上巨虚緊張、

陷谷・外陷谷・地五会圧痕、胆経緊張 (R<L)

☆治療部位

<毫鍼>右内庭、左公孫、左陷谷、左外陷谷、左地五会、太衝

<留置鍼>右脾俞、太溪、左陷谷、左外陷谷、左地五会

レスキュー使用回数：2.0ml/h 8回、4.0ml/h 4回

(鍼灸治療後：2回)

6月26日

9：30 痛い、良くならん。昨日は眠れた方ではある立ったり座ったりするときに痛み強くなる

17：30 鍼灸治療2診目

今日は足が…このこら辺が痛い。妻が内側というも、本人は大腿外側～前面部をさする。

脈診：数、細、無力、やや弦

触診：下腿冷え、浮腫あり、右内庭・右外内庭・右俠溪圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右脾俞、右内庭、右外内庭、俠溪

<留置鍼>右太溪、右内庭、右外内庭、右俠溪

レスキュー使用回数：2.0ml/h 11回、2.5ml/h 1回

6月27日

2：30 痛みに対し、ロキソニンテープ使用

8：00 右大腿シップで軽快

9：30 足は痛いけどお腹はマシ。夜はちょっと眠れた。

鍼はよう分からん。

15：30 なんかお腹が痛い。(グミ食べて)

17:30 鍼灸治療3診目  
痛いところ、お腹と足がズキズキします表情穏やか。円皮鍼抜去の際、仰向けになるも苦痛表情なし。

脈診：脾弦、腎無力、細、数

触診：腎経軽度圧痛。足背～足首まで冷えと浮腫。

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪

<鍬鍼>陥谷、外陥谷、地五会、脾俞

<円皮鍼>陥谷、外陥谷、左地五会、左太溪

レスキュー使用回数：2.5ml/h 15回、(鍼灸治療後：5回)

6月28日

2:00 排便のため、トイレへ。移動後に右下肢痛あり。

16:00 家人に説明

腸閉塞となり経口摂取が無理となりお身体の状態悪化です。

16:30 鍼?たぶん効いていると思う。ちょっと怖かったけど、もう少し、早くにお願いしたらよかったかな。チクツとするけど気持ちいい。足の痛みに特に効いていると思う。

17:30 鍼灸治療4診目

痛みは、今は特にないです。

脈診：胃滑、腎弦、細、無力

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌

触診：足背浮腫、冷えあり

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪

<鍬鍼>右太溪、右陥谷、右外陥谷、右地五会

<円皮鍼>太溪、右陥谷、右外陥谷、右脾俞

レスキュー使用回数：フェンタニル 3ml 11回、(鍼灸治療後：3回)

6月29日

3:30 少し寝ました。足が少し痛くて・・・。

7:00 足の付け根が痛い。今日は調子が悪いのかな。

16:00 昨日、面談であったが、家族と鍼灸治療の話をしている。

レスキュー使用回数：3.0ml/h 11回、3.5ml/h 6回、(17:00～ 6回)

6月30日

9:00 痛み止めをお願いします。今朝、トイレに行こうと思って立った時にふらつきました。

レスキュー使用回数：3.5ml/h 13回、(17:00以降 5回)

7月1日

9:30 【妻】昨日は何かしんどかったみたいです。足が床についてたし。【本人】うん。だるい感じ。足もお腹も痛い(NRS=5)

13:30 痛みが強く、夜間休めない。

21:00 排便時に鮮血便(日曜日から)

レスキュー使用回数：10回、(17:00～ 3回)

7月2日

10:30 うん。痛いなこの辺が。(NRS=7程度)臍周囲をさすりながら、言われる。レスキュー使用するも2～30分程度で痛みが戻る。

15:30 全然(レスキューが)効きません。

17:30 鍼灸治療5診目

今日はしんどい。お腹も足も痛い。

脈診：肝滑、胃無力、腎微弦

舌診：淡白、胖大、嫩舌、白膩苔、湿潤

触診：足背浮腫、右太溪圧痛、公孫緊張(R<L)、左内関深部緊張

☆治療部位

<毫鍼>左公孫、左内関、右太溪、左中封、左三陰交、左太衝

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会、右太溪

レスキュー使用回数：17回 12回以降～4.5ml/h、(鍼灸治療後：6回)

7月3日

2:30 ……。【妻】出てないらしいです。

渋り腹の様な痛みがある。

8:30 痛いな……。【妻】鍼をしてもらっている間は楽そうでしたが、それもしばらくだけで。やっぱり日に日に痛み強くなっている様子です。

17:30 鍼灸治療6診目

痛いです。お腹全体が。

脈診：渋

触診：足三里緊張、左脾俞緊張圧痛、下腿浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左三陰交、左公孫

<円皮鍼>左脾俞

※治療中：「あ～気持ちいい」

レスキュー使用回数：13回 11回以降～5.0ml/h、(鍼灸治療後 1回)

7月4日

0:00 便が出ない……

3:00 排便なく、排尿のみ

9:30 トイレよりコールあり。暗赤色便中等量あり。

14:30 NRS=4～5。早送り回数が増えているが、痛みの強さは低下。

16:30 鍼灸治療7診目

今日はそんなに痛くもないです。お腹は(NRS=)3、

足は(NRS=)1～2。痛みが強い時は(NRS=)5までである。

脈診：脾弦、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、三陰交、右陥谷、右外陥谷

<鍬鍼>左中封、左太衝

<円皮鍼>左外関、三陰交、右陥谷、右外陥谷

レスキュー使用回数：5ml/h 11回、(鍼灸治療後：3回)

7月5日

9:00 排便ありました。真っ黒で水ではなく、塊です。  
張りはかわらず。

17:30 鍼灸治療 8 診目  
ガスができればいいけど。痛みは張りが辛い (NRS=) 3。  
脈診: 腎無力、弦  
☆治療部位  
<毫鍼>三陰交、足三里、左太溪  
<鍤鍼>行間、左公孫  
<円皮鍼>行間、左太溪  
レスキュー使用回数: フェンタニル 2.5ml/h 6 回、(鍼灸治療後: 2 回)

7月6日

7:00 便はないね。張ってる感じは続いているけど…血がちよつと出てることあるね。

18:30 ああ、よう寝てた。寝てたら大丈夫やけど…。  
レスキュー使用回数: 2.5ml/h 7 回

7月7日

2:00 お腹張ってえらいです。【妻】便がもう丸一日出てません。ガスは出ているみたいです。

3:00 温めてちょっとマシになりましたけど、お腹が痛いです。  
(排ガスあり、便なし)

15:00 あれから出てないし、やっぱり張ってるのがしんどい  
(朝1、昼1少量排便あり)  
レスキュー使用回数: 2.5ml/h 7 回

7月8日

10:30 よう寝てたわ。けど、起きるとやっぱりお腹張るし、痛みも感じる。

20:30 一応、報告しようと思って。黒いポツツとしたものがでた。昨日股から注射か何かしてもらって調子いいよな。。。  
レスキュー使用回数: 2.5ml/h 9 回

7月9日

18:30 鍼灸治療 9 診目  
今日は痛いというか、だるいというか、眠いというか…  
脈診: 渋、脾弦  
触診: 下腿浮腫、太溪深部硬結、足三里緊張、行間軟弱圧痛、三陰交深部緊張、右脾俞圧痛  
☆治療部位  
<毫鍼>足三里、右三陰交、左復溜、行間  
<鍤鍼>大都  
<円皮鍼>右脾俞、太溪、右太衝  
※治療後: 腹部の張り消失

18:40 昨日、今日で6階や売店まで行っています。症状は泥状が少し、嘔気なし  
レスキュー使用回数: 2.5ml/h 11 回、(鍼灸治療後: 4 回)

7月10日

5:00 痛いんでお願いします。ああよく寝た。爆睡してました。  
5~6時間寝てんたかな?

15:00 今まではかなり早送りの回数多かったけど、この頃減った。

17:00 リハビリをしたい。歩きたい希望を話される。疼痛あるが、生活範囲拡大あり。

17:30 鍼灸治療 10 診目  
昨日より楽ですけど、少し張っているよう。  
脈診: 脾弦、腎無力  
触診: 下腿浮腫  
☆治療部位  
<毫鍼>右足三里、内庭、外内庭、右三陰交、俠溪  
<円皮鍼>陥谷、地五会  
レスキュー使用回数: 2.5ml/h 5 回、(鍼灸治療後: 2 回)

7月11日

11:30~17:00 輸血施行

17:10 鍼灸治療 11 診目  
輸血中のため、だるい  
脈診: 渋  
触診: 足背浮腫、足三里~上巨虚緊張  
☆治療部位  
<毫鍼>足三里、右三陰交、右太溪、左交信  
<円皮鍼>左太溪  
レスキュー使用回数: 2.5ml/h 3 回、(鍼灸治療後: 2 回)

7月12日

12:30 トイレ行くと痛み出てきます。前は便が出なくて寝てばかりだけど、今はトイレの回数が増えて、よく起きています。それが怠いです。

18:30 鍼灸治療 12 診目  
だるいです。  
脈診: 肝・脾渋  
触診: 左胃俞表面緊張圧痛、左太衝軟弱、右外関緊張、右前腕浮腫  
☆治療部位  
<毫鍼>右足三里、内庭、外内庭、俠溪、右太溪  
<円皮鍼>左胃俞、右陥谷、右外陥谷、右地五会、右外関  
レスキュー使用回数: 5 回、(鍼灸治療後: 2 回)

7月13日

15:30 うん。昨日より今日はマシかな?昨日は輸血後でしんどかったし。今日はシャンプーしとこうかな?冴えない表情であるが、午前中より午後の方が表情よい。笑顔で話されたり、TV 見ている。(NRS=3~5) レスキュー使用しているが、穏やかに生活している。  
レスキュー使用回数: 2.5ml/h 7 回

7月14日  
15:30 はあ、マシですね。でも痛みは急に出来ます。日中ベッドサイドで足を組み、テレビ、新聞を見ている。仰臥位も取れている。腸蠕動痛か？デキサートの効果もみる。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月15日  
10:00 しといてもらおうかな。外出より、何か味わいたい。  
痛みNRS=3

レスキュー使用回数：2.5ml/h 6回

7月16日  
11:00 【妻】さっきゼリー半分食べました。全部は無理でしたけど。【本人】お腹すいたので食べました。美味しかったです。

12:30 お腹が空いてきて食欲がある。パンやうどんなど食べた。

17:00 鍼灸治療13診目  
足の痛みほとんどなく、お腹の調子も良い。

腹部の痛み：NRS=3

足の痛み：NRS=1~2

脈診：脾・腎弦

触診：足背浮腫、左足三里緊張、太溪深部硬結

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、右内関、左公孫、太溪

<円皮鍼>左陥谷、左外陥谷、左地五会、右脾兪

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回、(鍼灸治療後：3回)

7月17日  
10:00 今日はおしっこだけ。便は出ていない。朝ゼリーを1個食べた。

16:30 鍼灸治療14診目  
今はNRS=2~3くらい。ちょっと痛いかなってくらい。  
以前トイレが3回だったのが最近1回に。でもその分ゆっくり眠れるようになりました。本日まで便もガスもない。

脈診：肝渋、脾腎微弦、細

舌診：淡白、胖大、嫩舌、瘀斑

触診：足背浮腫、深部冷えあり。足三里緊張、左三陰交深部緊張、太溪表面軟弱、陥谷・外陥谷・地五会軟弱(R/L)

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左三陰交、太溪、左太衝、左陥谷、左外陥谷、左地五会

<円皮鍼>右太溪、左三陰交、左陥谷、左外陥谷、左俠溪

16:30 本日は排便ないが、張った感じはありません

20:00 鍼は気持ちいいし、してもらってよかった。  
レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回、(鍼灸治療後3回)

7月18日

8:00 ご飯始まるから楽しみなんです。  
14:30 味あるもの食べられてうれしい。調子よい。調子よいと外出や外泊もしたいなって欲が出てきます。  
16:30 鍼灸治療15診目  
今日は調子良いです。ゼリー食べてもムカつかないです。  
お腹動いたら以前は痛かったけど、今は痛くない。

脈診：腎弦

舌診：淡白、薄白苔、胖大、嫩舌

触診：左足三里緊張、右太溪表面軟弱深部緊張、右太溪軟弱、右脾兪緊張圧痛

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、右外関、右太溪、左太白、右太衝

<円皮鍼>右脾兪

19:30 今日調子いいです。朝1回だけ、レスキューした。  
レスキュー使用回数：2.5ml/h 3回  
(鍼灸治療後2回 予防的に)

7月19日

9:00 フェンタニル1日2セットが最大で継続している。

15:30 鍼灸治療16診目  
深夜に排便あり。張りも痛みもない。

脈診：腎弦、肝虚

触診：足背浮腫、左足三里緊張、右外関緊張、太溪表面軟弱、左太衝発汗

☆治療部位

<毫鍼>左足三里太溪、左太衝、右外関

<円皮鍼>右脾兪、太溪

レスキュー使用回数2.5ml 6回、(予防的に2回使用)

7月20日

8:30 おにぎりは硬くて、怖かったので食べていません。  
レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(17:00~2回)

7月21日

8:00 五分粥より三分粥がいい。今のところ大きな悪化はない。  
12:00 レスキューしてもらおうかな？今は痛み1~2ぐらい。完全にゼロになることはないけど、最近痛みが少し楽になってきた。

21:00 下腹部の術創部から1~2mm程度の穴があり、便汁の様なものあり。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 9回、(17:00~2回)

7月22日

3:00 パウチ内に便汁あり。腹痛はあるが激痛というほどの苦痛表情はない。

17:30 ムンテラ：癌を治療できる状態でもなければ、手術など治療で改善できる状況でもない。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回、(17:00~1回)

7月23日

11:00 なかなか眠りにくいです。痛みとか、気持ち悪さはそんなにないです。

17:30 鍼灸治療 17 診目

今日は調子いいですね…。

脈診：脾滑、肝腎無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：右太衝緊張、太溪硬結圧痛、後溪緊張、右手浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、太溪、左豊隆

<鍚鍼>後溪

<円皮鍼>行間、内庭、右外関

21:30 詰まったりしないかな？

【妻】気持ちがいふ沈むみたいで、泣く回数も増えた

レスキュー使用回数：2.5ml/h 4回、(鍼灸治療後：1回)

7月24日

15:00 裂孔 13×10mm。臍下部の正中創痕に位置。腸液あり。

16:00 ショックです。臍下に 0.5×0.5 mm、0.7×0.6 mmの孔あり

16:30 鍼灸治療 18 診目

痛いところ…うーん、痛くないけど…ふふ。張った感じない。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：左上巨虚緊張、左太溪緊張硬結、左中封細絡、右公孫緊張、  
下腿冷え

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太溪、左中封、右公孫

<e-Q>足三里、三陰交、太溪

17:00 家族から先に亡くなることで、輪からはじかれる疎外感。  
周りに迷惑や、臭いで嫌われていると不安といった状態。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(鍼灸治療後：2回)

7月25日

7:30 今週は絶食で炎症の悪化も認めない。

17:30 鍼灸治療 19 診目

鍼は気持ちいい。

治療中時折笑みを浮かべるが弱々しい。

脈診：脾・腎無力、弦

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左太溪、行間

<円皮鍼>陥谷、外陥谷、右行間、左神門、右外関

レスキュー使用回数：6回、(鍼灸治療後 1回)

7月26日

9:00 今は痛みある。

16:00 妻だけでなく本人も入院中のストレスや妻に対して気を使っていることなど思いを言葉にする。しかし、涙を流すことも表情が暗くなることはない。

17:00 鍼灸治療 20 診目

【本人】鍼灸は…気持ちいい…【妻】寝とったでしょ？

【本人】うん。気持ちいいからウトウトしてしまう

脈診：腎無力

触診：左足三里表面緊張、豊隆緊張、右太衝表面緊張、右行間軟弱  
圧痛、左三陰交緊張

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、右太衝、右公孫、左足三里、左豊隆

<円皮鍼>右行間、太溪

レスキュー使用回数：2.5mg/h 7回、(鍼灸治療後：2回)

7月27日

15:30 パウチの不安あるもペインコントロール良好。

穏やかに経過している。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(17:00~ 1回)

7月28日

18:25 今日も1個モモを食べたんですよ。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月29日

3:17 足が酷く浮腫みだして、冷えてるのかな？鍼灸はしてもらうと楽なんです。気持ちよくて眠ってしまうくらい。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回

7月30日

10:00 経口接種後に痛み増強したり、腹部膨満感なく経過する。

17:30 鍼灸治療 21 診目

足の浮腫みなのですが、金曜に鍼灸してもらってマシになったのに土曜から月曜にかけて徐々に戻ってしまいます。

脈診：胃弦

排尿：昼2回、夜間1回

☆治療部位

<毫鍼>左公孫、太溪、膝関、右期門

<鍚鍼>八風穴、湧泉

<円皮鍼>八風穴、右脾俞

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回

7月31日

15:00 腹痛訴えるが早送り後に排便少量あり。

17:00 鍼灸治療 22 診目

あ、ちょうど、そろそろ鍼灸かなって話していたところで



足浴を寝る前にしてもらってるんですけど。足の冷たさは  
どうですか？（昨日よりいいですよ）よかった～。

脈診：脾・腎弦

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左三陰交、右太溪、陥谷、外陥谷、地五会

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回

8月1日

17:30 鍼灸治療 23 診目

左浮腫軽減しているが、右は変化なし。

脈診：脾弦、腎微弦、肝無力

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、膝関、八風穴、左足三里、三陰交

<鍍鍼>右外関

<円皮鍼>八風穴、右膝関

レスキュー使用回数：2.5ml/h 3回

8月2日

9:30 フェンタニルからフェントステープ 8mg

オキシコドン塩酸塩水和物散 10mg に変更

17:30 鍼灸治療 24 診目

また（足が）腫れてきたね

脈診：脾洪、腎弦

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌、舌裏白

☆治療部位

<毫鍼>陥谷、外陥谷、地五会、左足三里、陰陵泉、右太溪、

右足三里

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右太衝、右侠溪、右陰陵泉

レスキュー使用回数：2.5ml/h 0回

8月3日

14:30 昼食後に復痛あり

レスキュー使用回数：10mg×3回、20mg×2回

8月4日

4:30 こんな痛みなかったけど、頭の方まで痛くなった。4:30  
より腹部、両大腿部、腰、肩、頭にかけて痛みの増強あり。

レスキュー使用回数：10mg×2回、20mg×4回

8月5日 レスキュー使用回数：20mg×5回、30mg×1回

8月6日

17:30 鍼灸治療 25 診目

浮腫を気にされている

脈診：肝・腎無力、胃滑

☆治療部位

<毫鍼>左曲泉、左陰谷、左上巨虚、右八風穴、右外関

<円皮鍼>外関、三陰交

20:00 フェントステープ 10mg に増量

レスキュー使用回数：30mg×3回

8月7日

17:00 鍼灸治療 26 診目

点滴がなくなったから、浮腫みがマシになってきている。

スリッパも履きやすい。

脈診：脾洪、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>曲泉、膝関、左三陰交、右八風穴

<円皮鍼>右脾俞、右太溪、

レスキュー使用回数：30mg×3回

8月8日

9:30 よかった事は食べれるようになったのと点滴が取れたこと。

17:00 鍼灸治療 27 診目

今日は足を温めておきました。

脈診：脾滑、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右太溪、右三陰交、右八風穴、右太溪

<円皮鍼>右八風穴、右大都

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月9日

15:00 今日は鍼の先生が来てくれるんです。

気持ちいい。もっとして欲しいくらい。

16:00 鍼灸治療 28 診目

浮腫は温めても変わらなかったから、今日は温めてません

脈診：脾滑、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右足三里、左膝関、右三陰交左太溪、右八風穴

<円皮鍼>右八風穴

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月10日 レスキュー使用回数：30mg×6回

8月11日

20:00 予防的に使用。夜は予防的に使用している。回数が増える

レスキュー使用回数：30mg×8回

8月12日

21:00 点滴ないとやっぱり不安ですね。

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月13日

17:30 昨日と比べ青白い印象。低カリウムにより点滴する。

17:35 鍼灸治療 29 診目

うん。気持ちいい…

脈診：脾洪、肝腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右膝関、太溪、左三陰交

<鍹鍼>八風穴

<円皮鍼>太溪、右大都、左太衝

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月14日

17:30 鍼灸治療 30 診目

【妻】昨日の夕方は足が痛かったみたいですけど、今日は  
そうでもないね。【本人】うん。痛いって感じはない

脈診：腎無力、虚

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右三陰交、復溜、右膝関、右八風穴

<円皮鍼>太溪、右外関、右八風穴、右脾俞

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月15日

7:30 一昨日より昨日、昨日より今日と少しずつシャッキっとし  
てきます。

18:00 鍼灸治療 31 診目

主治医に言えなかったけど、右足がパンパンに痛い。

☆治療部位

<毫鍼>右膝関、右太溪、右三陰交

<円皮鍼>右漏谷、右圧痛部

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月16日

15:30 鍼灸治療 32 診目

ん…痛いね。触れた時と、体重かかると痛い。

脈診：肝渋、腎無力、細

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、太溪、膝関、右三陰交、右八風穴

<円皮鍼>太溪、右三陰交、右外関、右脾俞

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月17日

9:30 右下腿に痛みあり。歩行できない。

20:00 血栓の可能性ありと説明する。

レスキュー使用回数：30mg×4回

8月18日

3:00 2:30 くらいから躓される。血栓の可能性を聞いてから気  
落ちしている。

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月19日

21:30 下腿痛は継続しているが、軽減することもあり。

レスキュー使用回数：30mg×3回

8月20日

17:30 鍼灸治療 33 診目

声かけするも入眠。

☆治療部位

<毫鍼>左膝関、左三陰交、右公孫、右内庭、右外内庭、右侠溪

<円皮鍼>太溪

レスキュー使用回数：30mg×2回

8月21日

15:00 室内トイレで、排尿しだすと疼痛が増強

19:00 鍼灸治療 34 診目

今日はお腹痛かった。トイレに行くとギューっと痛かった。

脈診：脾渋、腎無力、細

☆治療部位

<毫鍼>右外関、左三陰交、右太溪、右太白、右八風穴

<円皮鍼>太溪、左行間、左三陰交

レスキュー使用回数：オキソドン塩酸塩水和物散 30mg×3回

フェンタニル 2.1ml/h 7回

8月22日

18:30 鍼灸治療 35 診目

下腿の痛み軽減傾向。鍼灸治療と同時に入眠。

膝下～足背まで浮腫はやや軽快、足背浮腫は悪化

☆治療部位

<毫鍼>膝関、右太衝、右太溪、左三陰交

レスキュー使用回数：フェンタニル 2.1ml/h 11回

8月23日

1:30 トイレで転倒

8:00 何もかもいやだ。こんなんやったら早く楽になりたい。

17:00 鍼灸治療 36 診目

…トイレで転んでしまった。

脈診：虚、細、無力

触診：身体全体冷えが強い

☆治療部位

<毫鍼>右膝関

<e-Q>陽池、太溪、右太衝、陷谷、外陷谷、地五会

<円皮鍼>右照海

17:30 食事中、笑顔がみられる

レスキュー使用回数：フェンタニル 2.1ml/h×10回

フェンタニル 3.0ml/h×5回

8月24日

12:30 食べたからお腹が痛くなりました

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.0ml/h×8回

8月25日

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.0ml/h×7回

フェンタニル 3.5ml/h×7回

8月26日

3:30 効いてないわけではない…

11:00 いつもゼリーも全部食べるけど、今日は胸が詰まる感じで、食べられませんでした。

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.5ml/h×10回

フェンタニル 4.0ml/h×11回

8月27日

12:00 ドルミカム開始

17:30 ……。

脈診：散、132回/分

☆治療部位

<鍼鍼>太溪、公孫、脾・腎経、八風穴

8月28日 著変なし

8月29日 逝去

#### 【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
評価とれる状況ではなかった。
- 患者コメント  
3診目：鍼？ちょっと怖かったけど、もう少し、早くにお願いしたらよかったかな。チクッとするけど気持ちいい。足の痛みに特に効いていると思う。  
9診目：今まではかなり早送りの回数多かったが、この頃減少。  
14診目：鍼は気持ちいいし、してもらってよかった。
- 家族コメント  
5診目後：鍼をしてもらっている間は楽そうでしたが、それもしばらくだけで。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象  
鍼灸治療を受けている間だけ、楽そうな表情している印象があり

#### 【総括】

本症例は虫垂癌による癌性疼痛に対して鍼灸治療を行った。鍼灸治療介入前の状態では、苦痛表情を見ることが多かったが、鍼灸治療中～1時間程度の短い間は気持ちよさそうに表情も穏やかになり、時折笑顔を見せながら会話をする様子が見られた。

患者コメントから「鍼灸治療は気持ちがいい」とターミナル中期～後期でも鍼灸治療を希望されていたこと、また、鍼灸治療持続効果はあまり望めなかったが、短い時間であっても患者の苦痛が消失していたことから右大腿部痛および腹痛に対しての鍼灸治療効果は有効だったと考えられた。

20130009 (NO. 59)

【患者】67歳、男性

【既往歴】胃潰瘍（胃部分切除）

【病態】再発なし

【ターミナル期】なし

#### 【現病歴】

X年4月、作業中に2mの高さから転落。

腰を強打し、両下腿のしびれがあったため、本院整形外科に入院となった。

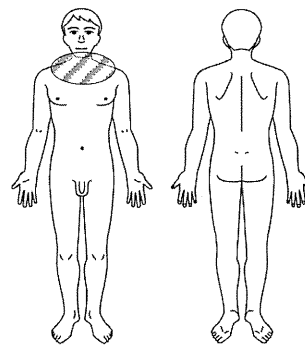
入院後、嘔気・ムカつき症状が出現し、食欲低下となった。内服にてムカつき止めを処方するが、「効果がない」とのこと。胃カメラ等の検査を行うが、器質的原因が見つからないため、内科医より鍼灸治療介入の依頼があった。

#### 【服薬状況】

メトクロプラミド

プレガバリン

ロフラゼパ酸エチル



#### 【鍼灸治療目的】

服薬するが症状緩和が認められない嘔気、ムカつきに対して依頼された。

#### 【東洋医学的所見】

脈診：胃滑、腎無力。触診：胸脇苦満（R<L）、臍周囲ソフト、下腹部軟弱、左足三里緊張、太溪硬結（R<L）、左足陽明経熱感。望診：皮膚黒く（太溪に色素沈着あり）・剥落あり（足の指、踝周囲など）。嘔気あり。

#### 【弁証】肝胃不和

【鍼灸介入期間】8日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】1日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

#### 【鍼灸治療最終評価】

1)嘔気：著効

【治療経過】

17:00 今日ムカムカする。  
朝からの嘔気継続にて水以外は摂取していない。

18:30 リハビリは順調らしいけど吐いた時凄くしんどい。  
とにかくこのムカつきをどうにかしてくれ。

6月28日

14:00 今日はずごく気分が悪い吐いたし薬の量がふえた。

17:30 鍼灸治療1診目  
ゲップもでるし、ムカつきも…。会話中嘔気あり  
脈診：胃滑、腎無力  
触診：胸脇苦満 (R<L)、臍周囲ソフト、下腹部軟弱、左足三里緊張、  
太溪硬結 (R<L)、左足陽明経熱感  
望診：皮膚黒く (太溪に色素沈着あり)・剥落あり (足の指、踝周囲  
など)

☆治療部位  
〈毫鍼〉左足三里、左太溪  
〈鍍鍼〉行間、内庭、外内庭、俠溪

19:00 ムカムカしとると、言われるが、嘔吐はない様子

6月29日

15:30 シュークリーム1個とアラレを少し食べた。  
20:00 夕食半分程度摂取できており、嘔気軽減している。

6月30日

15:00 14時の昼食摂取後、訪室するも嘔気なく経過。  
20:30 ムカムカして。あかんわ。嘔気継続にて夕食摂取できず。

7月1日

13:00 朝は調子いいけど、夜はあかんわ

7月2日

13:00 メトクロプラミド飲んでも変わらん。リハビリ室まで行く  
のは早いが、売店のところで「ここまでが限界や！」と病  
室に戻られようとする。

17:30 鍼灸治療2診目  
あんまり変わってないかなあ  
脈診：脾微弦、肝無力、腎無力  
舌診：紅、中央白黄膩苔、胖大、嫩舌  
触診：右内関圧痛、左気戸圧痛、右足三里緊張圧痛、太溪緊張圧痛

☆治療部位  
〈毫鍼〉左気戸、右足三里、右内関、右太溪

7月3日

10:30 ムカつき、気持ち悪さはない  
17:30 鍼灸治療3診目  
ゲップもムカつきも前より減ってきた。うん。  
脈診：脾滑、腎無力、肝無力  
舌診：紅、舌尖紅、白膩苔

触診：右公孫緊張、太溪軟弱陥凹、足三里緊張 (R<L)

☆治療部位

〈毫鍼〉左内関、左足三里、太溪、左気戸

〈毫鍼による接触鍼〉右公孫

7月4日

9:00 朝食の粥7割摂取可能

17:30 鍼灸治療4診目

もう、ゲップも、吐き気もないです。今日ね、ご飯食べ  
ました。

脈診：脾滑、腎無力

☆治療部位

〈毫鍼〉右足三里、太溪、右公孫

〈円皮鍼〉右足三里、太溪、左気戸

7月5日

11:00 鍼してもらってから、吐き気もゲップもなくなった。ここ  
2~3日楽になって。何か食べたい気分。レストラン連れて  
行って。

15:30 ほとんど食べた。エビフライと大根のやつ、カレーも食べ  
れたわ

18:00 鍼灸治療5診目

今日、レストラン行って食べてこられたし、ゲップもムカ  
つきもないで。

脈診：脾滑、腎無力

舌診：紅舌、白膩苔 (舌中)、舌下静脈怒張

触診：太溪軟弱・陥凹、足三里の緊張が緩和している。

☆治療部位

〈毫鍼〉右三陰交、左太溪

〈鍍鍼〉行間、〈留置鍼〉右外関、太溪

7月6日

10:00 昨日レストラン行ってきた。嘔気、嘔吐はない。

15:30 今日はフラーとする。眠い。座っていても後ろに倒れそう。

7月7日

11:30 今日はあかんわ。だるいわ。今日は夜も食べれそうにない  
です。

本日からプレガバリン、ロフラゼパ酸エチル中止する。

21:00 昨日はしんどかった。一昨日は調子よかったからたくさん  
食べて、この調子だったら大丈夫と思っていたのだけど  
昨日みたいになると思うと怖くていけない。

7月8日

16:30 朝こけたんや。びっくりした。足は痛いことはない。ベッ  
ドで寝たら大丈夫。ムカムカすることはないけど、しん  
どい。